

(別紙4(2))

事業所名 あおぞらの里 グループホーム黒崎

**目標達成計画書**

作成日: 平成 26 年 11 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	10年前の開設時に、職員全員で思いを込めて作った理念であるが、最近は理念を唱和する余裕もない位、日々の介護に追われているので、職員間で話し合い、理念を定期的に唱和し、職員全員で理念の意義を理解し、介護の実践に反映させていく。	職員会議や朝礼時に理念を唱和し、理念の意義を理解して、介護サービスの提供に取り組み、職員が、悩んだり、迷った時には、理念に振り返り初心に戻り、自分を取り戻せるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	3	運営推進会議を活かした取り組み	会議は家族の参加が多く、地域代表に、毎回案内は出しているが、参加の協力が無いので、参加委員の増員を図り、会議が活性化し、地域との協力関係が出来るように取り組んでいく。	有識者、知見者、複数の民生委員等に、参加要請し外部の目を通した、意見や要望、情報等を提案して貰い、ホーム運営に反映させ、地域との関係が、信頼関係に発展していくことを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。